

# 令和2年度 議会報告会

## 磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等 利活用特別委員会 報告

1. 磐田市民文化会館跡地等利活用の検討に係る経緯
2. 市議会特別委員会
  - (1) 特別委員会概要
  - (2) 第1次提言項目要旨
3. 今之浦市有地・今之浦公園整備について
4. 磐田市民文化会館及び  
文化振興センター跡地利活用について
  - (1) 磐田市民文化会館跡地利活用懇話会
  - (2) 特別委員会 研修会

磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会について、ご報告します。

## 1 磐田市民文化会館跡地等利活用の 検討に係る経緯

- 昭和52年 磐田市文化振興センター 昭和54年 磐田市民文化会館 竣工

築後40年以上経過し 老朽化  
バリアフリー化対応や耐震性能にも課題あり

- 「磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会」や  
「磐田市文化会館 建設検討委員会」にて約3年間 議論・検討

### 磐田市文化会館の移転・新設を決定

- 移転に伴い 今之浦市有地・今之浦公園が新たな活用の検討に

磐田市民文化会館  
及び  
文化振興センター跡地

+

今之浦市有地  
今之浦公園

一体的に整備

周辺地を含めた 回遊性・まちの賑わいづくり

最初に、磐田市民文化会館跡地等利活用の検討に係る経緯を説明します。磐田市文化振興センターは昭和52年に、磐田市民文化会館は昭和54年に竣工し、文化公演や式典、展示など、様々な市民活動の拠点としての役割を担ってきました。

しかし、築後40年以上が経過し、施設の空調や給排水設備などの老朽化が進み、各設備の部品の調達等も困難であることに加え、バリアフリー化への対応や耐震性能に課題を抱えている状況にありました。

市当局では、これらの課題の解決のため、「磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会」や、「磐田市文化会館建設検討委員会」を開催し、約3年間の議論と検討を重ねた結果を踏まえ、磐田市文化会館の移転及び新設を決定しました。

この決定に伴い、これまで主に市民文化会館の臨時駐車場等として活用していた今之浦市有地は、新たな活用の検討が可能となりました。一方、今之浦公園は、公園施設の老朽化や樹木の繁茂により、防犯上の問題も指摘され課題がありました。

これらの状況を踏まえ、市民文化会館及び文化振興センター跡地だけでまちの賑わいを考えるのではなく、今之浦市有地及び今之浦公園を合わせて一体的

に整備することで、周辺商業地などとの回遊性を考慮し、まちの賑わいづくりを  
図っていく機会と捉え、市は具体的な整備について検討することに至ったもの  
です。

## 2 市議会特別委員会

### (1) 特別委員会 概要

- 平成30年7月 設置
- 目的：  
磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等の利活用について協議・調査・提言等を行う
- 委員数： 12名
- 委員会開催
  - ・平成30年度 7回
  - ・令和元年度 4回
  - ・令和2年度 3回



### (2) 第1次提言項目要旨

- 平成30年8月 6回の委員会を開催の後、  
「磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針(案)に対する第一次提言書」を取りまとめ、市長あてに提出

市の方針決定を受け、本市議会では「まちのにぎわいづくり」に繋がるまたとない貴重な機会であるとともに、「都市計画マスタープラン」において当該エリアの活性化、賑わいづくりは緊要な課題であると認識しました。

平成30年7月に、議会としての責任ある議論・提案を行うべきと考え市民文化会館跡地及び今之浦市有地等の利活用について協議、調査、提言等を目的とした特別委員会を設置し、12人の委員で利活用に向けての議論を進めてきました。

平成30年度は全6回の委員会を開催し、市当局の整備方針の説明、それに対する質疑、議員間の意見交換を行い、平成30年8月には、磐田市議会として「磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針(案)に対する第一次提言書」を5点の内容に取りまとめ、市長あてに提出しました。



「磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針(案)  
に対する第一次提言書」要旨

1. 都市計画マスタープランの記載に基づき、今之浦市有地と今之浦公園については、市民の憩いの場となるよう広く市民ニーズを反映した計画(案)を作成すること。
2. 時代に応じて変化するニーズを捉えるため、市民文化会館及び文化振興センターの跡地利活用に関する計画策定には十分な期間を設け、専門家や市民の意見を取り入れる体制づくりを行い、同時に市民の理解を得る取り組みを継続的に行うこと。
3. 都市計画マスタープランに謳われている当該地区のまちづくり方針を具現化するため、市民文化会館及び文化振興センターの跡地に関する基本方針決定に先立ち、まちの賑わい、回遊性を見据えた全体計画(案)を策定し、市民及び議会に示すこと。
4. 長期にわたる事業となることも考慮し、公共施設等総合管理計画や他事業の進捗状況、財政見通し等を示した上、将来世代の重い負担とならぬよう留意すること。
5. 議会に対して、継続的な情報共有及び意見交換の場を設定すること。

主な内容は、「都市計画マスタープランの記載に基づき、今之浦市有地と今之浦公園については、市民の憩いの場となるよう広く市民ニーズを反映した計画(案)を作成すること。」などです。

### 3 今之浦市有地・今之浦公園 整備について

先行して基本方針【今之浦市有地・今之浦公園 編】を策定

- 令和元年度 基本構想・実施設計に着手
- 令和2年度 整備工事開始(令和3年4月暫定利用開始)



今之浦公園・市有地整備イメージ図



整備工事の様子

これを受け、当局においては、まずは、今之浦市有地及び今之浦公園について、先行して基本計画を策定しました。令和元年度において、基本構想・実施設計に着手し、令和2年度から、令和3年4月暫定利用開始に向け、整備工事が進められています。

\* (今之浦公園・市有地整備のイメージ図と現在の工事の様子です。)

## 4 磐田市民文化会館及び文化振興センター 跡地利活用について

(1) 磐田市開催 「磐田市民文化会館跡地利活用懇話会」

令和元年度 2回開催

(2) 市議会特別委員会 これまでに 全14回開催

令和2年8月 研修会開催

講座名：「将来を見据えた魅力的な公共施設について」

講師：静岡文化芸術大学名誉教授 川口 宗敏氏



特別委員会 研修会の様子

また、市民文化会館及び文化振興センターの跡地利活用に関しては、令和元年度に有識者、地域の代表、学生、子育て世代の代表、勤労者や若者団体の代表などで構成される「磐田市民文化会館跡地等利活用懇話会」が2回開催されています。

市議会特別委員会においても、これまでに全14回の特別委員会を開催し、市当局から計画・事業等についての報告・説明を受けるとともに、令和2年8月には、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、有識者を招いて、将来を見据えた魅力的な公共施設についての研修会を開催し、周辺地域を含めた跡地利活用についての責任ある提言に向け議論を深めています。

新型コロナウイルス感染症流行の終息が不透明な中、磐田市の各種事業への影響も心配されますが、市議会といたしましては、磐田市民文化会館跡地及び文化振興センターの跡地の利活用について、今後も継続的に機会を捉えて、提言等を行っていく予定です。

以上、特別委員会の報告を終わります。